

静岡県立美術館 第3回鑑賞教育指導者研修会(報告)

主催:静岡県立美術館/後援:静岡県教育委員会、静岡県博物館協会

実施日:平成23年12月3日(土) 10:00~15:30

時間	会場	内容	
10:15 -11:15	図書館2階講堂 (レクチャールーム)	美術講座①「東北大震災の文化財保護活動について」 講師:柘墨仁堂 代表 山口聰太郎 装こう師として、震災後、文化財レスキューとして活動された内容と、NPO、ボランティアなどの組織的な保護活動の重要性についてお話をうかがいました。文化財が多くの人の努力によって保護され、後世に受け継がれていることを学びました。	
11:25 -12:25	図書館3階会議室 (視聴覚モデルルーム)	美術講座②「鑑賞の手前～展示の手法・高校での移動美術展」 静岡県立美術館 堀切正人 高校を会場にして、当館収蔵品を展示する移動美術展を開催してきた経緯や展示手法、生徒達の反応や普及活動を紹介しました。	
	図書館2階講堂 (レクチャールーム)	研究発表「静岡県立美術館中高生対象<ART!>の取り組み」 静岡大学大学院 岩倉牧 静岡県立美術館 鈴木雅道 石巻市から被災で商品価値を失ってしまった糸を提供してもらい、ティーンエイジャーを中心に屋外に共同で作品制作した記録をお話しました。	
	美術館 ロダン館内	実践発表「小学校教諭によるロダン館作品鑑賞授業」 静岡大学教育学部附属静岡小学校 教諭 四條秀樹、同児童26名 ロダン館彫刻を教材とし、実際に美術館内で授業を実施してもらい、その可能性を探りました。子供達の自由な発想と先生の教材研究力が発揮されました。	
12:25 -13:25	図書館3階会議室 (視聴覚モデルルーム)	昼食・休憩	
	図書館3階会議室 (中集会室、小集会室)	美術館連携の相談ブース(各美術館学芸員が待機)	
12:35-12:55	美術館2階展示室1室	「京都国立博物館名品展 京都千年の美の系譜 一祈りと風景」展 学芸員によるフロアレクチャー 静岡県立美術館 福士雄也	
12:55-13:20	美術館2階展示室7室	「静岡県立美術館収蔵品展 オールドマスターズ」展 高校生によるギャラリートーク 静岡県内高校生徒12名 高校生が当館収蔵品展会場で一般のお客様にギャラリートークをしました。作品解説というより、感じたままを自分の言葉で話すことに重点をおいて開催しました。	

13:30 -15:30	美術館1階実技室	<p>静岡県立美術館「銅版画(ドライポイント)の実技と鑑賞」 静岡県立美術館銅版画インストラクター 柳本一英</p> <p>ドライポイント、エッチングといった技法で作品をつくりました。学校にプレス機はあるけれど、もてあましておっしゃる先生方に好評でした。</p>	
	美術館1階講座室	<p>浜松市美術館「ガラス絵の実技と鑑賞」 浜松市美術館 前田一成</p> <p>ガラス絵の制作からその魅力まで体験させていただきました。ガラス絵の歴史、制作のヒントがそのまま鑑賞のポイントになっていました。</p>	
13:30-14:25	図書館2階講堂 (レクチャールーム)	<p>研究発表及び質疑①「MOA美術館《紅白梅図屏風》出張授業案」 MOA美術館 矢代勝也</p> <p>美術館と学校との連携について、実践事例をまじえてお話していただきました。《紅白梅図屏風》レプリカや扇子、茶器などもご持参いただき、体感的に鑑賞する大切さを学びました。</p>	
13:30-14:25	図書館3階会議室 (視聴覚モデルルーム)	<p>研究発表及び質疑②「浮世絵教室と広重検定」 東海道広重美術館 樋川淳子、大石沙織</p> <p>浮世絵について児童生徒が学ぶシステムと広重検定、レプリカの紹介など詳細にわたって東海道広重美術館の魅力をお話いただきました。</p>	
14:35-15:30	図書館2階講堂 (レクチャールーム)	<p>研究発表及び質疑③「『鑑賞ガイド』をつかったミュージアム教室と創作と鑑賞が一体となったオープンアトリエ事業について」 静岡市美術館 安岡真理、伊藤鮎</p> <p>展覧会セルフガイドの作成プロセスや実技系の体験プログラムなどを詳細に紹介していただきました。</p>	
14:35-15:30	図書館3階会議室 (視聴覚モデルルーム)	<p>研究発表及び質疑④「学校連携事業の展開と展望」 佐野美術館 河内えり子、三島市立中郷西中学校 露木知浩</p> <p>佐野美術館と三島市内の中学校との連携について、表現と鑑賞の一体化をキーワードにお話いただきました。</p>	